

# Let's Products Review

これは買い!?  
気になる新製品をいち早くテストする!



手軽にファイルを暗号化できるPCカード

## PCKey-3

ワイヤレスでインターネットに接続できるノートパソコン

## Let's note CF-A1R



光学5倍ズームを搭載した個性派211万画素デジカメ

## DSC-F505K



高倍率ズームとマクロが魅力の130万画素モデル

## QV-8000SX



小型タブレットがセットになった手書きメールソフト

## Pen@mail joy



必要な機能を簡単に運用できるインターネットサーバー

## Interjet II



ルーターでも使えるISDN専用ファックスソフト

## RVS-COM 2000



新種ウイルス対策補償サービスの付いたウイルス対策ソフト

## ウイルスバスター2000



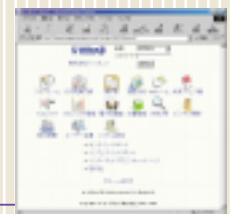
400万人以上が利用する世界標準の暗号化ソフト

## 封印 PGP Ver.5.5.5J



シンプルで軽快に動作するウェブグループウェア

## サイボウズ Office パック EX 3



手軽にファイルを暗号化できるPCカード

# PCKey-3

**Check!**

専用フォルダーにコピーするだけでファイルを暗号化  
56ビットDESをハードウェアで実現した堅牢性  
暗号化ファイルをフロッピーやメールで送れる

PCカードに暗号化機能を持つ、新スタイルのファイル暗号化システムが発売された。企業だけではなく、個人においても情報の漏洩に対する意識が高まっている時代だけに、セキュリティ確保のための安価で確実な手段として注目したい製品だ。

PCカードで高速＆確実な暗号化

PCKey-3の最大の特徴は、56ビットDES(Data Encryption Standard)暗号LSIをPCカードに収め、ハード的に暗号化/復号を実現している点だ。PCカード内に暗号エンジンと秘密カギの格納場所があるため、PCカードがなければたとえパスワードが漏洩しても解読される心配がない。つまり、PCカード自体がハード的なカギとしての機能も併せ持っている。

共用ノートPCに最適

PCKey-3は、特に企業などで複数の人が共用しているノートPCで威力を発揮する。PCKey-3には3ユーザーまでのパスワードを保存できるため、3人のユーザーがお互いに見られたくないファイルを暗号化しておけば、安心してノートPCを共用できる。また、個人の場合でも家族に見られたくないファイルを暗号化するなど、プライバシーを保護するためにも利用可能だ。

## 試用レポート

### ① 専用フォルダーで暗号化

暗号化するときは、「運用ソフト」と呼ばれる暗号化ソフトを起動し、ユーザーIDとパスワードを入れておくだけで、専用のフォルダー(ユーザーフォルダーと呼ぶ)にコピーされたファイルが自動的に暗号化

され、ユーザーフォルダーから読み出すときに自動的に複号処理される。ユーティリティソフトを使って暗号化や復号を行う方式ではないので、操作が簡単でリアルタイム性が高い。またファイルをコピーした場合だけでなく、アプリケーションでユーザーフォルダーにファイルを保存するだけでも暗号化は行われる。実際に、メモ帳、WZエディター4.0、マイクロソフトワード98、エクセル97で試してみたが、ファイルはすべて暗号化された。ただし、マニュアルにはテンポラリーファイルを作るアプリケーションでは復号がうまくいかないという記述もあるので、いったん別フォルダーに保存したファイルをコピーするという手順のほうが確実なようだ。なお、ネットワークドライブにはユーザーフォルダーは置けない。また、他人が暗号化したファイルを読むことはできないが、書き換えたり削除したりはできるという点に留意しておく必要がある。

### ② 暗号化ファイルをメールで送信

次に、暗号化したファイルのメール添付を試した。まず、PCKey-3に登録する「ユーザーID」、「パスワード」、「鍵情報」をメールを送る相手と一致させておく。この状態で、送り手側はユーザーフォルダーに入れておいた目的のファイルを運用ソフトを終了させたうえでメールに添付する。受信側も、運用ソフトを終了させた状態で添付ファイルをユーザーフォルダーにコピーする。運用ソフトを起動するとそのファイルの暗号が解かれて読めるようになるという手順だ。送り側、受け側共に暗号のオンオフを使い分けねばならないためやや面倒ではあるが、暗号化したファイルの交換は可能だ。

発売元	株式会社アイ・オー・データ機器
価格	34,800円
問い合わせ先	076-260-1024(金沢)
本体寸法	W54mm x D85.6mm x 5mm (PCカード規格Typell)
対応OS	ウィンドウズ95/98
<a href="http://www.iodata.co.jp/products/pccard/pckey_3.htm">www.iodata.co.jp/products/pccard/pckey_3.htm</a>	



PCMCIA TYPE-  
のPCカード。内  
部に暗号エンジンが  
あり、秘密カギもカ  
ード内に保存する。



暗号化されたファイルはそのままで見ることはできないが、運用ソフトを起動してパスワードを入れると見えるようになる。テキストファイルだけでなく、画像やワープロ書ファイルも暗号化される。

### ③ 家庭からオフィスまで幅広く対応

家庭でのプライバシーの保護、ビジネスにおける企業情報の保護という両面で、このPCKey-3はセキュリティの保護に役に立つ。ファイルをコピーするだけで暗号化されるという手軽な操作性のため、パソコンに不慣れなユーザーでも十分に使いこなせるだろう。(梅垣まさひろ)

発売元	松下電器産業株式会社
価格	オープンブライズ
問い合わせ先	0120-873029
本体寸法	W255mm x D205mm x H23.8mm
重量	約 1.18kg
CPU	intel モバイル Celeron プロセッサ 366MHz
メモリー	標準 64MB SDRAM (最大 128MB)
ディスプレイ	10.4 型ポリシリコン TFT カラー液晶 (1024 x 768 ドット)
ビデオチップ	NeoMagic 社製 NM2200 2.5MB
ハードディスク	6GB
インターフェイス	CardBus 対応 PCMCIA Type II スロット x 1、ワイヤレスポート、拡張バスコネクタ、i.LINK (IEEE1394) 端子、赤外線通信ポート (IrDA Ver.1.1: 最大 4Mbps)、USB コネクタ
付属品	Microsoft Windows 98 プロダクトリカバリー CD-ROM (2 枚)、外部 FDD、ワイヤレスステーション、ワイヤレスステーション用 AC アダプター、AC アダプター、周辺接続ケーブル、モジュラーケーブル、標準バッテリーパック、取扱説明書、他

**Jump** [www.pcc.panasonic.co.jp/letsnote/](http://www.pcc.panasonic.co.jp/letsnote/)



本体はマグネシウム合金を採用し、メタリック塗装車と同じクリアメタルコート塗装が施されている。そのため、傷が付きにくく、ワックスをかけた車のボディのように景色が写り込む。非常に高級感のある仕上がりがた。

松下電器産業から発売された Let's note の最新モデル「CF-A1R」は、ワイヤレス通信機能を内蔵した家庭向けのノートパソコンだ。モデムを内蔵した「ワイヤレスステーション」が付属し、本体とワイヤレスステーションの間は無線で通信を行うため、配線を気にせずに家中どこからでもインターネットが楽しめる。

家中どこでもインターネットに接続

CF-A1R の最大の特徴は、PHS の内線通信規格を応用した、自営標準第 3 版に準拠の PIAFS 64K のワイヤレス通信機能を内蔵している点だ。本体には V.90/K56flex 対応のモデムを内蔵するワイヤレスステーションが付属しており、本体とワイヤレスステ

ワイヤレスでインターネットに接続できるノートパソコン

# Let's note CF-A1R

**Check!**

ワイヤレスステーションでインターネットに接続  
携帯電話や PHS を接続するだけでメールを受信  
わずか 1.18kg の B5 サイズ軽量ノートパソコン



17mm キーピッチの金属バンタグラフキーボードを採用。ストロークは浅いがしっかりとした入力感があり、快適に文字をタイプできる。キーボード左奥に見えるオレンジ色の部分がワイヤレスユニットのアンテナ。利用しないときは倒して収納できる。

ーションの間は PIAFS 64K でデータ通信を行う。そのため、電話線を気にせずにベッドの上やベランダ、庭など、家中どこからでも気軽にインターネットにアクセスできる。本体とワイヤレスステーションの間の通信可能な距離は見通し 100 メートルとなっているので、家庭内で使うには十分だろう。また、ワイヤレスステーションには Dsub 9 ピンのシリアルポートも装備されているので、ISDN 回線の場合はシリアルポートに TA を接続すれば 64Kbps で通信ができる。シリアルポートには TA だけではなく、別の PC を接続することもできるため、CF-A1R とシリアルポートに接続した PC との間でファイルを転送するといった使い方もできる。

外出時もワイヤレスでインターネット

CF-A1R は、左側面に携帯電話や PHS が接続できるインターフェイスを装備しているため、外出時にデータ通信用の PC カードを持ち歩く必要がない。別売りの専用ケーブル (価格 4,500 円) を使って携帯電話や PHS を接続するだけで通信できる。接続可能な端末は、デジタル携帯電話や NTT ドコモとアステルの PHS で、cdmaOne や DDI ポケットの PHS は利用できない。インターフェイスにケーブルを接続するだけでダイヤルアップ接続を行い、メールを自動受信した後に回線を切断する「メール自動受信機能」があるので、外出先でも簡単にメールのチェックができる。

## i.LINK 端子を搭載

Let's note シリーズでは初めて i.LINK 端子を搭載した点にも注目したい。i.LINK にデジタルビデオカメラを接続すれば最大 30 コマ/秒で動画を取り込み、取り込んだ動画はプリインストールされている「ムービーオンメール」を利用すれば、メールに添付できる程度のサイズに圧縮され、添付ファイルとして送れる。



本体左側面：左からワイヤレスユニット、I/O 拡張コネクタ、携帯電話/PHS インターフェイス。携帯電話や PHS は別売りの専用ケーブルを利用して接続する。



本体右側面：左から電源スイッチ、Type II PC カードスロット、USB ポート、電源コネクタ。



本体正面：左から IrDA ポート、i.LINK (IEEE 1394) ポート、マイク入力、ヘッドホン出力。

## 試用レポート

### ① ケーブルのない快適さ

ノートパソコンはどこにでも持ち歩いて利用できるのが特徴だが、インターネットにアクセスするときは電話線を接続しなければならないため、モジュラージャックのある場所ではしか利用できない。これではせっかくのノートパソコンの機動性が台無しだ。そんな悩みを解決してくれるのが付属のワイヤレスステーションだ。これを利用することにより、AF-C1R ではインターネットに接続する際でもすべての配線から解放される。この快適さは一度味わってしまうとやめられない。

実際にワイヤレスステーションの電波はどの程度まで届くのかを鉄筋コンクリートのビル内で試してみたところ、同一フロア内はもちろん、階下でも問題なく通信ができた。一般家庭ならば、家中どこからでも通信できるだろう。

### ② 面倒な設定は不要

ワイヤレスステーションと本体との設定は出荷時になされているため、面倒な設定をする必要はまったくない。タスクバーに常駐している「電波状況モニター」を開いて「ワイヤレス通信モジュール」の電源をオンにするだけですぐに通信が可能だ。あとは、通常どおりダイヤルアップネットワークの「新しい接続」を選択して、プロバイダーの情報を入力すればインターネットに接続できる。

### ③ 本体にモデムを内蔵した機種もある

Let's note A1 シリーズは CF-A1R だけで



ワイヤレスステーション：ワイヤレスステーション左側面に電源スイッチと Dsub 9 ピンのシリアルコネクタを装備する。シリアルコネクタには、TA のほか PC も接続できる。

はなく、ワイヤレス通信モジュールの代わりに 56K モデムを内蔵した CF-A1V というモデルも用意されている。価格は CF-A1R が実売予想 30 万円程度、CF-A1V が実売予想 27 万円となっている。CF-A1R のほうが 3 万円ほど高いが、主に家庭内で利用するならばワイヤレス通信ができる CF-A1R が断然おすすめだ。

(編集部)



ワイヤレスステーション底面：ワイヤレスステーション底面に AC アダプターや電話回線を接続するコネクタが配置されている。



電波状況モニター：画面左下のスイッチを「ON」にするとワイヤレスステーションと通信できる。

発売元	ソニー株式会社
価格	125,000円
問い合わせ先	03-5448-3311
本体寸法	W107.2mm x D135.9mm x H62.2mm
重量	435g
付属品	4MBメモリースティック、リチャージ ャブルバッテリーパック、ACアダプタ ー/チャージャー、AV接続ケーブル、 レンズキャップ、リストストラップ

**Jump** [www.sony.co.jp/sd/ProductsPark/Consumer/DSC/DSC-F505K/](http://www.sony.co.jp/sd/ProductsPark/Consumer/DSC/DSC-F505K/)

光学5倍ズームを搭載した個性派211万画素デジカメ

# Cyber-shot DSC-F505

**Check!**

38 ~ 190mm相当の光学5倍ズーム  
多彩なアングルで撮影しやすい回転レンズ  
高い質感と個性的なフォルムのボディ



巨大なズームレンズの独特なフォルムが目を引く。ボディにはマグネシウム合金を採用しており、質感は高い。

倍という高倍率ズームを搭載したことでレンズ部が巨大になり、カメラというよりレンズに可倒式液晶モニターを付けたように見え見える個性的なデザインだ。

光学5倍のCarl Zeissレンズ  
バリオゾナーを搭載

春に発売されたCyber-shot DSC-F55Kは、単焦点モデルとしては高めの価格設定にもかかわらず、その個性的で物欲を刺激するフォルムと質感が人気を集め、売り上げランキングで常に上位をキープし続けてきた。それだけにCyber-shotのズームモデルを待望する声も多かった。

その声に応じて登場したのがDSC-F505Kだが、まるで大砲のようなレンズに小さなボディがくっついているという、大胆でアンバランスなフォルムには度肝を

抜かれる。ほとんどの人は、ポケットに入るコンパクトなズームモデルを望んでいたと思うが(もちろん、筆者もその1人だ)、高い光学性能を持ったズームレンズはそれなりの光学系が必要で、単焦点レンズに比べるとどうしてもレンズ部が大きくなる。3倍ズームを搭載して中途半端な大きさになってしまうくらいなら、ズーム倍率を5倍と高くして、妥協しない光学性能を確保したほうが潔い。そう考えると、F505のフォルムとスペックが納得できる。

ちなみに、F505のレンズは上90度から下50度まで任意の角度に回転できる。残念ながら自分撮りはできないが、ローアングルやハイアングルでも液晶モニターを見ながら撮影できる点は便利だ。光学ファインダーがないのでホールディングが不安定になりやすいが、液晶モニターを上に向けて腰から腹のあたりにカメラを押し付けるように構えると、超望遠撮影時でも手ブレを抑えられる。液晶モニターは透過・反射兼用のハイブリッドタイプで、上に向けると太陽の光を反射しやすくなるので一石二鳥だ。

## 試用レポート

① シャープでキレの良い描写力に加え  
作画のための撮影機能も充実

F505の描写は、単焦点モデルのF55と基本的には似たような傾向で、非常にシャープでキレの良い描写が魅力だ。「ツァイス」というブランドを盲信するわけではないが、逆光でもフレアが少なく、コントラストの



液晶モニターは透過・反射兼用のハイブリッドタイプで屋外でも高い視認性を誇る。

ソニーからCyber-shotのズームモデル「DSC-F505K」が発売された。ドイツの名門Carl Zeissのバリオゾナーレンズを搭載した211万画素のデジタルカメラで、驚かされるのはその奇抜なフォルム。光学5



1/2 インチ 211 万画素 CCD は原色タイプを採用。コダックやフジのような鮮烈な彩度の高さはないが、補色のようなニゴリもない。



AF ではピントが合わなかったが、マニュアルフォーカスに切り替え、フォーカスリングで調整。この程度の夜景ならなんとか写る。

高いキレのいい描写はさすがだ。ただ、ズームレンズでレンズ構成枚数が多いためか、ゴーストは出やすいようだ。また、絞りが菱形で、その形がボケやゴーストに反映されるのはちょっと残念な点だ。

レンズ先端にはマニュアルフォーカスリングがあり、液晶モニターを見ながらマニュアルフォーカスで撮影ができる。液晶モニターには、フォーカスインジケータが表示され、ピント位置を大まかに教えてくれるのも便利だ。また、52mm 径のフィルター溝が刻まれているので、市販のフィルターやフードも装着できる。

レンズ側面には、ホワイトバランス、スポットメーターボタン、マクロ撮影切り替えボタンが並んでいて、ワンタッチでモードを切り替えられる。特に、ホワイトバランスは、F55 ではメニュー内で設定する必要があって操作が面倒だったが、F505 では瞬時に操作できるので、明らかに使用頻度が多くなった。できれば露出補正もッシュ・アンド・ロータリー式のダイヤルを側面に付けて、ワンタッチで AE ロック、ダイ

アルを回転すれば露出補正ができるようになれば理想的なのだが、従来と同じように、メニュー内で設定する仕様のままだ。

AF スピードはどちらかと言えば遅く、背景のコントラストが強いとピントがそちらに引きずられやすい。シーンによってはマニュアルフォーカスに切り替えたほうが無難だ。また、グリップ部が小さく、カメラを構えると指が余ってしまい、シャッターボタンが押しづらいのも気になる。

しかし、こうしたいくつかの不満や欠点はあるものの、それを上回る魅力があるのも事実だ。5 倍ズームでなければ撮れない被写体、1 クリップあたり最大 60 秒の動画が撮れる MPEG1 ムービー、そして、Cyber-shot、ソニー、ツァイスというブランドイメージ。F505 は、



近くに寄れない被写体をアップで写せるのが 5 倍ズームの魅力。路面電車を引き立たせるため、ローアングルで撮影してみた。

#### Cyber-shot DSC-F505

レンズ	38 ~ 190mm 相当 (35mm フィルム換算)
CCD	1/2 インチ 211 万画素 CCD
記録メディア	メモリースティック
最多記録枚数(8MB) 1600 x 1200 ピクセル	ファイン 16 枚、スタンダード 30 枚
液晶モニター	2 型 TFT ハイブリッド LCD
電源	充電式インフォリチウムバッテリー

持つ喜びと満足感が得られる数少ないデジタルカメラの 1 つと言えるだろう。

(伊達淳一)

発売元	カシオ計算機株式会社
価格	100,000円
問い合わせ先	03-5334-4828
本体寸法	W142.5mm x D71mm x H77.5mm
重量	330g
付属品	8MBコンパクトフラッシュカード、ストラップ、ソフトケース、ビデオコード、ワイヤードリモコン、アルカリ電池(LR6 x 4本)、レンズキャップ、リモコン用電池、CD-ROM

Jump www.casio.co.jp/QV/

QVシリーズならではの回転式レンズを搭載。8倍光学ズームながら、レンズ部は270度回転できる。



2.5型の大型液晶モニターを採用。日本語対応のわかりやすいメニューで操作性が向上した。

カシオから8倍光学ズーム搭載の131万画素モデル「QV-8000SX」が発売された。光学8倍という高倍率ズームにもかかわらず、レンズ部が270度回転できるあたりは、さすがQV-10を世に送り出したカシオの製品だ。はっきり言って収納性はあまり良くないが、ローアングルやハイアングルでの撮影や自分撮りには非常に便利だ。また、写真表現のためのさまざまな機能が盛り込まれているのも特徴だ。

光学8倍の高倍率ズームだけでなく非常に多機能なデジタルカメラ

高倍率ズームとマクロが魅力の130万画素モデル

# QV-8000SX

**Check!**

40 ~ 320mm相当の回転式8倍ズーム  
レンズ前1cmのマクロ撮影  
最長64秒までの長時間露出

アルフォーカスなど、写真表現に欠かせない各種機能も搭載されている。

さらに、パノラマ撮影モードを使えば、液晶モニターで継ぎ目を確認しながら分割撮影ができ、しかもカメラ内で簡易パノラマ合成をして再生することも可能だ。このほか、インターバルタイマー撮影やムービー撮影（音声は記録できない）といった多彩な機能を備えている。

## 試用レポート

① レンズ部が大きく収納性は良くないが非常に軽快で使い勝手も抜群

光学8倍という高倍率ズームを搭載しているだけあって、レンズ部はポテッとボリュームがあり、ハッキリ言って収納性は良くない。しかし、見かけによらず使い勝手は非常に良く、グリップは大きめでしっかり手にフィットする。回転レンズを利用してウエストレベル(液晶モニターを上に向けて腰のあたりで構えること)で撮影すれば、超望遠でもブレにくい。液晶モニターは2.5型で、屋外でもそれなりの視認性を維持している。

撮影モードの切り替えはダイヤル式で直感的に操作でき、露出補正もシャッターボタン脇の+/- ボタンで瞬時に行える。絞り優先AEやシャッター優先AE、ホワイトバランスの設定などはメニューで行うが、電源再投入時に前回の設定を引き継ぐリセットするかを機能ごとに選べるのは便利だ。

また、5コマ分のバッファメモリーを搭載しており、随時バックグラウンドでメモリーカードへの書き込みが行われるので、いたずらにシャッターボタンを押せばなしにしない限り、次のシャッターが切れない

## カシオのQV デジタ

ルシリーズは、デジタルカメラの黎明期には圧倒的なシェアを誇っていたが、他社がコンパクトで高画質な製品を次々と発売したことで、徐々にシェアを落としてきたという経緯がある。

しかし、今回のQV-8000SXは、カシオのただならぬ意気込みが感じられる製品だ。40 ~ 320mm相当の光学8倍ズームを搭載した131万画素モデルで、オプションで0.7倍ワイコンや1.5倍のテレコンも11月に発売予定となっている。また、ワイド端ではレンズ前1cmというクローズアップ撮影も可能。レンズには43mm径のフィルター溝が刻まれているので、市販のフィルターも簡単に装着できる。

カメラとしての機能も充実しており、通常のプログラムAEに加え、ポートレート、風景、夜景といったシーン別プログラムAEも搭載されていて、撮影ダイヤルを回すだけで簡単に設定できる。絞り優先AE、シャッター優先AE、64秒までの長時間露出、バルブ撮影などもメニューで設定でき、ホワイトバランスのマニュアル設定やマニユ



レンズが回転するので、地面スレスレのローアングル撮影も楽な姿勢で行える。地面に置いて撮影すれば望遠撮影でもブレを防ぐことができる。



64秒までの長時間露出とマニュアルでの絞り選択（3段階） マニュアルフォーカスが行えるので、花火撮影もバッチリ。NDフィルターも装着可能だ。



ワイド端ではレンズ前1cmまで被写体に近寄り、驚くほどのクローズアップ撮影が行える。43mm径のフィルター溝もあるので、各種フィルターも装着できる。



早朝の雰囲気演出するため、ホワイトバランスを電灯光に設定して、全体の色調をブルーでまとめた。

というケースは稀だ。電池が残り少なくなってくると、データが失われないよう、安全のために1コマごとに記録するモードに自動的に切り替わる。電源は単3アルカリ電池4本だが、ニッケル水素充電電池を使えば電池の持ちは非常に良好だ。

さらに、USBにも対応しており、付属のUSBケーブルをパソコンに接続するだけでQV-8000SXがPCカードリーダーとしてマウントされ、高速にCFカードのデータを読み書きできる。また、PhotoLoaderという付属のユーティリティーを常駐させておけば、新しいメモリーカードやカメラを認識すると、自動的に指定したフォルダーにデータをコピーし、サムネイルや撮影情報を記録したHTMLファイルを作成してくれる。

❶ 原色 CCD ならではの発色の素直さ  
64秒までの長時間露出も魅力

気になる画質も、130万画素モデルとしては十分なレベルで、多少絵作りの粗さを感じる面もあるが、原色 CCD というのもあって非常に発色が素直で好感が持てる。オートホワイトバランスでの撮影は多少黄色っぽさが目立つが、マニュアルセットを使えば驚くほどきれいな撮影ができる。306dpiのA6昇華型プリンターに出力したところ、200万画素モデルとの画質差はまったくなく、むしろ発色の良さでQV-8000SXで撮影したもののほうがきれいに見えるくらいだ。ただ、青空をバックにしたひまわりのように、特定の色境界ではギザギザが目立つのが惜しい。

特筆すべきは最長64秒までの長時間露出だ。通常、デジタルカメラは長時間露出になるほど、また、温度が高いほどノイズが増えて画面に数々のスポットが現れる。QV-8000SXは、1秒を超える長時間露出時には、撮

影が終わった直後にシャッターを閉じたまま同じだけ長時間露出を行い、ノイズ成分だけを記録する。そして、カメラ内部でソフト的にノイズ成分を除去するので、お手軽コンパクト路線の他のデジタルカメラでは撮れないような夜景もバッチリ撮れる。

このようにQV-8000SXは、40～320mm相当の高倍率ズーム、1cmのマクロ撮影、64秒の長時間露出、各種マニュアル機能、軽快なレスポンスと、カタログを飾るだけのスペックではなく、写真を撮影する楽しみを実感させてくれるスペックを備えたコンパクトカメラだ。（伊達淳一）

レンズ	40～320mm相当 (35mmフィルム換算)
CCD	1/2.7インチ131万画素CCD
記録メディア	コンパクトフラッシュカード
最多記録枚数(8MB) 1280×960ピクセル	F13枚、 N16枚、E29枚
液晶モニター	2.5型TFT低反射カラー液晶
電源	単3アルカリ電池4本



発売元	ネオスコポレーション株式会社
価格	9,800円
問い合わせ先	045-321-9951
本体寸法	W172mm x D150mm x H7.8mm
重量	296g
付属品	専用ペン、キーボードパワーアダプター (PS/2キーボードコネクタ用×1、 ATキーボードコネクタ用×1)、セット アップCD-ROM、フロッピーディスク

Jump www.neoscorp.co.jp



シリアルポートに接続する付属の小型タブレット。タブレットとペンは線でつながっている。

# 小型タブレットがセットになった手書きメールソフト Pen@mail joy

## Check!

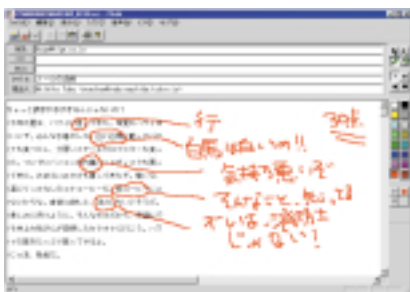
付属の小型タブレットで手書き入力ができるHTMLメールにイラストや文字を書き込める手書き入力に対応したメールソフトが付属

インターネットの急速な普及で、電子メールの使われ方にも変化が生じてきた。「Pen@mail joy」は、メールソフトに手書きの文字やイラストを書き込めるソフト「メールdeおえかき」、手書き入力対応メールソフト「Penpal Mail」と小型タブレットがセットになった、若年層や女性ユーザー向けパッケージだ。

メールdeおえかきでは、テキストと画像の重ね描きはできない。Penpal Mailを使えば、テキストメールには不可能な手描きの味を出せるほか、文章の添削など実用的な用途にも使えそうだ。ただし、Penpal Mailから出したメールは、Penpal Mailでしか開けない。Penpal Mailを持っていない相手に出すときは、付属の「Ink Viewer」を添付する。このソフトを使えば、Penpal Mailで送った手書き文字やイラスト付きメールを見られる。なお、このソフトはコピーフリーで、容量はわずか19Kバイトだ。



右下がメールdeおえかきのウィンドウ。HTMLモードにしたアウトLOOKエクスプレス5.0の新規メールに、絵を挿入している。



Penpal Mailは、本文に手書き文字を入力できるメールソフトだ。文章を添削するのにも使えるだろう。

## 2つのソフトで手書きメールを作成

メールdeおえかき、どんなメールソフトにも文字やイラストを書き込めるわけではなく、HTMLメールに対応したメールソフトに限られる。発売元のネオスコポレーションでは、アウトLOOKエクスプレス、アウトLOOK 98/2000、ユードラPro4.0以上、ネットスケープメッセンジャー4.0以上の動作を確認しているという。

メールdeおえかきを起動すると、小さなウィンドウが表示される。ここからペンやブラシを選び、線の太さや色を決めて、送信メールに好きな絵や文字を描くのだ。付属のツール「クリップマネージャー」には、90種類以上のイラストやアニメーションGIF画像が用意されており、ドラッグアンドドロップで送信メールに貼り付けることができる。クリップマネージャーには、自分で描いたイラストや、デジタルカメラなどから取り込んだ画像の登録もできる。

もう一方のPenpal Mailは、入力したテキストに手書きの文字やイラストを重ねて描けるのが特徴だ。HTMLメールを使うメ

## 試用レポート

### ① 難点はハードウェアのセッティング

メールdeおえかきもPenpal Mailも使い方はとても簡単だが、少々気になるのがハードウェアのセッティングだ。製品にはタブレットに電源を供給するための接続端子が3本あるケーブルが付属している。これをPCのキーボードコネクタに取り付け、もう1つの端子とキーボードを接続し、残りの端子をタブレットから出ているケーブルに接続する。また、タブレットから出ているもう1つのコネクタをパソコンのシリアルポートに接続しなければならない。製品のターゲットが女性や若年層であることを考えると、マニュアルの説明は少々不親切ではないかと感じた。

しかし、それさえクリアすれば、遊び心いっぱいのメールをすぐ書くことができる。2つのソフトには機能的に物足りなさを感じないでもないが、機能が増えれば操作はそれだけ複雑になる。シンプルさが逆にいいのだろう。 (飯 暁彦)

必要な機能を簡単に運用できるインターネットサーバー

# InterJet II

**Check!**

インターネット接続に必要な機能を網羅  
ブラウザを使った簡単設定  
PCであることを意識させない専用設計

中小の事業所で、本格的なインターネット接続の環境を構築しようとする際、もっとも障害となってくるのは、サーバー環境の構築とメンテナンスではないだろうか。そうした悩みに、Whistle InterJet IIは十二分に応えてくれる。

キーボードもモニターも不要な専用サーバー。さまざまなソフトウェアをインストールできる汎用のサーバーは、柔軟性や拡張性が高い反面、インストールや運用が面倒であることは否めない。

WhistleのInterJet IIは、サーバーを構築する際に必要な、ウェブサーバー、メールサーバー、FTPサーバー、ファイアウォール、DNS、ファイル共有といった機能がすべて収められた、簡単に利用できる製品だ。コンパクトなInterJet IIのきょう体には、設定用のキーと10キーが配置されており、本体のIPアドレスや動作設定などはこれらのキーだけで行える。

インターフェイスは、シリアルポートと100BASE-TX x 2(サブネット側と上流側)のみだ。シリアルポートにはTAを接続し、自動でダイヤルアップさせるために利用する。また、既存のルーターをゲートウェイとしてインターネット接続用に利用することも可能だ。

InterJet IIにはUPS(無停電電源装置)が組み込まれており、停電時にはシステムが自動的にシャットダウンされる。このため、不意の停電でデータが破壊されるといったトラブルはまず起きないだろう。

UNIXをベースにカスタマイズされたソフトウェアで動作

表面上、PCには見えないInterJet IIだ

が、その実体は非常にうまくオブラートで包んだPCだ。CPUにCyrix製プロセッサ233MHzを採用し、32Mバイトメモリー、6.4Gバイトハードディスクが搭載され、UNIX(Free BSD)をベースにカスタマイズされたOSが動く。動作するサーバーソフトは、すべてUNIX上で標準的に利用されているものばかりだ。

ウェブサーバーにはApatchが採用されており、インターネット側とイントラネット側でそれぞれ独立したタスクとして起動する。同様にBINDを利用するDNSもそれぞれのネットワーク向けに、別々のタスクとして起動させられる。メールサーバーに関しては、どのソフトウェアかは記載されていないが、SMTP、POP3、IMAP4、APOPといった代表的なプロトコルにはすべて対応している。ファイアウォール機能はアドレス変換機能とIPフィルタリングを組み合わせたものだが、カーネルやファイルシステムに手を加え、独自のものにすることでより高いセキュリティレベルを達成しているという。さらに、ファイル共有機能も持っており、ウィンドウズなどSMBネットワーククライアント向けにはSamba、Mac OS向けにNetatalkが動作する。

これら多くの機能は、すべてウェブブラウザを用い、画面に表示される説明を見ながら設定やメンテナンス、運用ログの閲覧を行えるので、コマンドラインの操作をまったく行わなくても運用可能だ。もちろん、ベースのOSがUNIXであるため、エキスパートユーザーならばコマンドラインベースのメンテナンスも行える。

発売元	ホイッスルコミュニケーションズ
価格	オープンプライス
問い合わせ先	03-5216-3450
CPU	Cyrix 233MHz
メモリー	32MB SDRAM
ハードディスク	6.4GB
インターフェイス	10/100Base-TX x 2、シリアルポート x 1

Jump www.whistle.co.jp



コンパクトにまとまったオールインワンサーバー。本体の設定キーとウェブブラウザからすべての操作が可能。

## 試用レポート

### ① 小規模事業所がインターネットに接続するための一番の近道

試用しての印象は、とにかく簡単だということだ。ブラウザでアクセスする設定や運用管理のページはわかりやすく、ダイヤルアップルーターを設定する程度の知識でも十分にサーバーを立ち上げそうだ。

インターネットに小規模事業者が接続する際にもっともつまづきやすいのは、おそらくUNIXのサーバーを立ち上げ、設定し、運用していかなければならない部分だと思う。メールサーバーやDNSなどは、一度設定してしまえば、それほど大幅な変更を加えずに使えるが、何かあったときに自分たちで対処できるかどうかは大きなポイントだろう。InterJet IIは、インターネットに関わる機能のほとんどを、UNIXを意識せずに利用できる。中小の事業所レベルでサーバーを構築するのにInterJet IIは最適だろう。

(本田雅一)

発売元	メガソフト株式会社
価格	19,800円
問い合わせ	06-6386-2072
OS	ウィンドウズ95/98、NT4.0
HDD	40MB以上の空き容量
メモリー	ウィンドウズ95/98の場合32MB以上、NT4.0の場合48MB以上

Jump [www.megasoft.co.jp](http://www.megasoft.co.jp)



インストールされたコンポーネント。「インボックス」でファックスや留守電メッセージを統合して扱う。コムセンターは管理ユーティリティだ。「新規のファックス」でも簡単なファックスは送れる。また、「電話」では、PCのマイクとヘッドフォンを使って電話がかけられる。

「RVS-COM」の新バージョンである「RVS-COM 2000」が発売された。今回のバージョンでは、NTT-MEのダイヤルアップルーター「MN128-SOHO SL11」を使ってイーサネット接続でファックスを送受信できるようにするなど、LAN経由で使える機能が充実している。

ルーターでもファックスを送受信

従来もRVS-COMを使ってルーターでファックスを送受信することはできたが、それはあくまでもシリアルポートに接続して利用する「TAモード」での対応だった。今回

ルーターでも使えるISDN専用ファックスソフト

# RVS-COM 2000

Check!

イーサネット接続でファックスを送受信  
市販ファックスソフトと組み合わせた使用も可能  
G3/G4 ファックスに対応

のバージョンアップでは、MN128-SOHO SL11(ファームウェアバージョン1.30以降)やヤマハ製ルーター(対応予定だが機種は未定)など「RVS ISDN-DCP機能」対応のルーターを使ってイーサネット接続でファックスを送受信できるようになった。最大4台までのPCでルーターをファックスモデムとして利用できる。また、モデムエミュレーションが可能になったため、PCから仮想モデムとしても利用できるようになった。これを使えば、STARFAX99などのファックスソフトでもルーターをファックスモデムとして扱える。RVS-COMのやや貧弱なGUIに代わって、使い慣れたファックスソフトの充実した機能と資産が利用できるメリットは大きい。なお、このモデムエミュレーション機能は、シリアルポートやUSB接続のTAでも利用できるが、着信はイーサネットのみの対応となっている。

## 試用レポート

①MN128-SOHO SL11でLAN接続  
早速、イーサネット経由でファックスの送受信を試してみた。RVS-COMはWindows Messagingに対応しているため、マイクロソフトワード2000やアウトLOOK 2000などWindows Messaging対応のアプリケーションからもファックスを送ることができた。また、受信も電話、留守番電話、ファックス受信の自動切り替えができ、留守電のメッセージはサウンドファイルとして保存されるのが便利だ。なお、モデムエミュレーション機能で他のファックスソフトを使う場合は、この自動切り替えは使えず、ファックス専用となる。

### ①NTでリモートPC管理

ファックスの陰で目立たない存在だが、RVS-COMにはPCをリモートコントロールしたり、ファイルを送受信したりする「トランスファーマスター」という機能がある。これを使うと、TAやルーターを介して公衆回線で接続したPCをリモートコントロールできる。RVS-COM 2000はNTのサービスとして動作するため、NTのリモート管理にも使える。また、G4ファックスに新たに対応し、従来のバンドルソフト「OKREADER Ver3.1 LE」による受信したファックスのOCR処理ができるなど、19,800円という価格からは想像できないほどの多彩な機能を提供する。

### ①PCの性能に注意

マニュアルにはモデムエミュレーションを使う際は少なくともPentium 200MHz以上のPCが必要と書かれている。実際、PentiumPro 180MHzのマシンで、秀タームエボリューションを使って二フティサーバへのパソコン通信をしてみたが、ところどころでスクロールが引っかかるような感じがあった。高速なPCならばもっとスムーズな処理ができるだろう。

### ①ISDNとPCを統合する

オフィスや自宅でダイヤルアップルーターを使っているなら、LAN経由で使えるファックスは非常に便利だ。たった19,800円の出費で簡易ファックスサーバーが実現できるRVS-COM 2000はなかなか快適で、お薦めのISDNファックスソフトだ。

(梅垣まさひろ)

# 「新種ウイルス対策補償サービス」の付いたウイルス対策ソフト ウイルスバスター 2000

## Check!

ウイルスに感染したら購入代金を返金  
感染ファイルを解析センターで調べてくれる検疫機能  
ファイルの差分ダウンロードで高速アップデート

メリッサやエクスプローラー-ZIPなど、メールから感染するタイプの強力なウイルスが流行したため、ウイルス対策ソフトが注目を集めている。トレンドマイクロのウイルスバスター2000は、単なるウイルスの駆除だけではなく、さらに一步踏み込んだ機能を備えた最新のウイルス対策ソフトだ。

ウイルス対策保険サービスをサポート  
ウイルスバスター2000がサポートする「新種ウイルス対策補償サービス」とは、登録ユーザーがウイルスバスター2000を使っているにもかかわらず、ウイルスに感染した場合に購入代金相当額を返金するというもの。ウイルス防御に対するトレンドマイクロの自信がうかがえるサービスだ。

インターネットを使ったウイルスが増えてきていることから、ブラウザを使って感染するタイプのウイルスを防御する機能も強化された。ウェブサイト上に不正なActiveXコントロールやJavaアプレットの実行をブロックする「WebTrap」に加えて、セキュリティ上好ましくないウェブサイトへのアクセスを禁止する「Web Filter」という機能が追加されている。

また、ウイルスの感染経路が従来のフロッピーでのファイルの受け渡しによる感染から、メールの添付ファイルによる感染へと変化してきたため、送られてきたメールのウイルスを検知する「E-Mail検索機能」も追加された。これは受信したメールを開封する前にリアルタイムでチェックする機能だ。

さらに、ウイルスに感染している疑いのあるファイルをトレンドマイクロに送信すると、48時間以内に解析結果を返送してもらえる「検疫機能」も備わっている。

## 試用レポート

### ① ブラウザーからの感染を防ぐ WebTrap 機能

ActiveXコントロールがセキュリティホールになり得るというニュースはよく見かける。しかし、実際にブラウザがそれをいつダウンロードして実行するのか、また、それが安全であるのかどうかユーザーには分かりにくい。ウェブサイトをブラウジングしている間、サイトを監視して不正なプログラムをブロックしてくれるWebTrapの機能は、悪意のあるサイトにアクセスしただけでウイルスに感染してしまうという不安を取り除いてくれる。一方、WebFilterはユーザーがアクセスしたくないURLを逐一登録しなければならないので、WebTrapに比べてウイルス防御という効果は低い。しかし、好ましくないページに子供たちや経験の浅いユーザーがアクセスするのを防ぐには便利な機能だ。

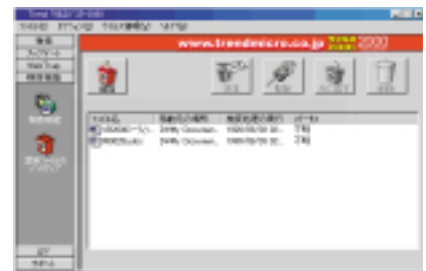
### ② ユーザーに動作を意識させない

ノートアンチウイルスと比較すると、ノートンではファイルを検査をするたびに小さなウィンドウが開き、検査中であることを表示するのに対し、ウイルスバスター2000は何も表示せず、その動きをユーザーにまったく意識させない。場合によってはメッセージが出たほうが安心することもあるだろうが、違和感のない操作性という意味ではウイルスバスター2000のほうが評価できる。

また、パターンファイルが差分形式になった点も他のウイルス対策ソフトに対するアドバンテージだろう。新種のウイルスが発見されるたびに更新され、2Mバイト前後のパターンファイルを毎回ダウンロードする

発売元	トレンドマイクロ株式会社
価格	8,500円
問い合わせ	03-5334-3650
OS	ウィンドウズ95/98、NT4.0SP4以降
HDD	12MB以上の空き容量
メモリー	24MB以上

Jump [www.trendmicro.co.jp](http://www.trendmicro.co.jp)



セキュリティ上好ましくないサイトをブロックするWebFilterの設定画面。危険なページへの不用意なアクセスを防ぐ機能だ。



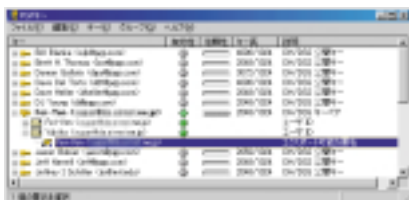
ウイルスに感染した疑いのあるファイルを隔離する「検疫機能」の画面。疑惑ファイルをトレンドマイクロ社に送信して解析してもらうこともできる。

というのは、かなり面倒で時間もかかる。そのため、ついついパターンファイルの更新を怠りがちになってしまう。ウイルスバスター2000では、新たに追加されたパターンファイルだけをダウンロードするので短時間で作業が済み、更新が容易になっているという点も評価できる。

(渡辺裕一)

発売元	株式会社ソース
価格	6,800円
問い合わせ	03-5350-4844
OS	ウィンドウズ95/98、NT4.0SP3以降
HDD	15MB以上の空き容量
メモリー	8MB以上

Jump [www.source.co.jp](http://www.source.co.jp)



作成した公開鍵はメールなどで直接渡すだけでなく、PGP専用の公開鍵サーバーにアップしておくこともできる。



プラグインに対応したメールソフトならば、ツールバーにメニューが表示されるため、暗号化や復号も簡単だ

電子メールやファイルの機密を守るために、全世界で400万人以上が利用している世界標準の暗号化ソフトがPGPだ。暗号化や復号はメニューやダイアログボックス

400万人以上が利用する世界標準の暗号化ソフト

# 封印 PGP Ver.5.5.5J

Check!

メールソフトにプラグインで対応  
ボタン1つでメールを暗号化  
すぐに使える2ライセンス入りパッケージ

から選択するだけなので、面倒な操作は不要だ。また、アウトLOOKエクスプレスやユードラProなどのプラグインに対応しているため、対応しているメールソフトなら暗号化や復号はさらに簡単に行える。

## PGPの仕組み

PGPは、公開鍵と秘密鍵の2つを使ってメールやファイルなどの機密を守るための暗号化ソフトだ。利用するには、まず公開鍵と秘密鍵を作成し、公開鍵をメールを送信したい相手とあらかじめ交換しておく必要がある。暗号メールを送る際には、相手の公開鍵を使ってメールを暗号化して送信する。受信側は、自分の秘密鍵を使ってメールを復号するといった仕組みだ。

このような、本人であることを厳格に定義する機能に加えて、強力な暗号化アルゴリズムを持っているため、PGPはメールを暗号化する際の事実上の標準ツールとなっている。

なお、PGPにはフリーソフトウェア版と商用版があり、従来商用版はネットワークアソシエイツ社がMcAfeeブランドとしてパッケージ発売を行ってきた。だが、今回のバージョンからは「封印 PGP5.5.5J」として、ソースネクストブランドで店頭発売されることになった。ただし、製品のサポートは引き続きネットワークアソシエイツが行うことになっている。

## 日本の文字コードに対応

今回の製品はマイナーバージョンアップだが、末尾に「J」が付いたことから分かるように、日本語圏での利用に焦点を当てている。その1つが暗号・復号時の対応文字コ

ードの拡大だ。今回の5.5.5Jでは、クリップボードとメールソフト内で処理を行う場合、従来のShift-JISに加えてISO-2022-JP(7bitのJISコード)を指定することもできるようになった。Shift-JISだけではメールソフトや送受信した環境によって文書が文字化けしてしまうことがあったが、これによって幅広い環境で正しく暗号化や復号ができるようになった。また、パスフレーズを入力するときにIMEを自動的にOFFにする機能が追加され、IMEの起動や誤変換による入力ミスを防ぎやすくなった。

## 試用レポート

### ① ボタン1つで暗号メールを作成

製品パッケージには2枚のCD-ROMと2組のライセンスが付属しており、暗号文書を交換したい人同士がすぐに利用できるようになっている点が嬉しい。

封印 PGPをプラグインとしてサポートするメールソフトは、マイクロソフトエクステンジ、アウトLOOK、アウトLOOKエクスプレス、ユードラProで、これらのメールソフトを使っていれば、面倒な作業は最初の鍵の交換だけだろう。あとはツールバーにメニューが表示されるので、ボタンをクリックするだけで即座にメールを暗号化したり復号したりできる。プラグインに非対応のメールソフトを利用している場合は、文書をいったんクリップボードにコピーして、暗号化や復号をする必要がある。ボタン1つというわけにはいかないが、決して難しくはないので、非対応のメールソフトだからといって、メールソフトを乗り換える必要はないだろう。(渡辺裕一)

シンプルで軽快に動作するウェブグループウェア

# サイボウズ Office パック EX 3

## Check!

10分でセットアップ完了の簡単グループウェア  
ユーザーごとにトップページのカスタマイズが可能  
ブラウザからメールが読めるウェブメール機能を搭載

グループウェアというと、管理が難しく操作も複雑といったイメージがあるが、「サイボウズ Office パック EX 3」はそんなイメージを払拭する、シンプルかつ高機能なグループウェアだ。すべての機能はブラウザを使って操作するため、クライアントソフトをインストールする必要もない。

シンプルで使いやすいウェブグループウェア  
サイボウズ Office は、すでに国内で1500社以上に導入されている実績のあるウェブグループウェアだ。すべてをブラウザ上で操作できる使いやすいユーザーインターフェイスが特徴で、スケジュール、行き先案内板、掲示板、施設予約、共有アドレス帳など数多くの機能を備えており、それらは必要な機能だけを選択して利用できる。

今回のバージョンは、新たに「パーソライズ機能」が追加された。これは、ログイン後に表示されるトップページをユーザーごとにカスタマイズできる機能で、ここには1週間のスケジュールをはじめ、自分宛の閲覧文書や新着メール、掲示板の最新記事、ToDo リストなどが表示される。

さらに便利な新機能を搭載

また、新たにウェブメール、文書管理、ワークフローの3つの機能も追加されている。ウェブメールは電子メールをブラウザで送受信できる機能で、届いたメールはフォルダーに分類できるほか、添付ファイルも扱える。文書管理は、ファイルをサーバーにアップロードしてメンバー間で共有できる機能だ。ファイルの更新履歴が表示

されるので、誰が最後にファイルを操作したかがわかるようになっている。ワークフローは申請書や報告書などを回覧する機能で、申請フォームや回覧順は自由に設定できる。回覧されてきた文書は、承認するか却下するかを決定すると、次の回覧者に送られる仕組みになっている。

## 試用レポート

### ① セットアップは10分で完了

サイボウズ Office パック EX 3 を、今となつては非力な Pentium 133MHz のマシン（ウィンドウズ NT4.0 サーバーと IIS4.0 をインストール済み）にインストールしてみた。インストール作業は非常に簡単で、わずか1.5M バイトほどのインストーラーを画面の指示に従ってセットアップするだけで完了する。難しい設定はまったくないので、ウィンドウズのアプリケーションをインストールしたことのある人なら誰にでもセットアップができるだろう。あとは、ブラウザで利用するユーザーのアカウントを作成するだけですぐに運用が可能だ。インストールから編集部員15人分のアカウントを作成するまで、わずか10分ほどで完了した。

### ② 導入した日からすぐに活用できる

サイボウズ Office パック EX 3 は、ブラウザを利用したわかりやすいインターフェイスなので、ブラウザを使ったことのある人なら、何も説明せずすぐに利用できるだろう。実際に編集部内で運用してみたところ、使い方をまったく説明しなくても

発売元	サイボウズ株式会社
価格	198,000 円 サイボウズ Office パック EX 3 (50 ユーザー)
問い合わせ	http://www.cybozu.co.jp/cb3/support/question.html
サーバー OS	ウィンドウズ 95/98、NT3.5.1、4.0
対応ウェブサーバー	IIS 1.0/2.0/3.0/4.0、Peer Web Services 2.0、Personal Web Server 4.0、サイボウズ Web サーバー、Netscape サーバー、オライリー WebSite
ブラウザ	ネットスケープナビゲーター 3.0 以上、インターネットエクスプローラ 3.0 以上

Jump www.cybozu.co.jp



サイボウズ Office パック EX 3 をインストールしたサーバーにブラウザでアクセスするとログイン画面が表示される。設定を含めたすべての操作はブラウザで行う。



ログイン後に表示される、ユーザーがカスタマイズできるトップページ。1週間のスケジュールや新着メールの件数、伝言などが表示される。

誰もがすぐに使いこなすことができた。また、動作も軽快で、Pentium 133MHz 程度のマシンで運用してもまったくストレスのない運用が可能だ。

サイボウズ Office パック EX 3 は、製品版をウェブサイトからダウンロードして60日間試用できる。製品を購入する前にじっくりと検討できるという点も評価したい。（編集部）



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)